



2022年2月10日

各 位

会 社 名 株式会社 鴨川グランドホテル  
代表者名 代表取締役社長 鈴木 健史  
(J A S D A Q・コード 9695)  
問合せ先 管理部長 向後 昌志  
(T E L 04-7094-5581)

### 債務超過解消に向けた計画の進捗状況について

当社は、2021年5月14日に公表しております「2021年3月期 決算短信[日本基準] (非連結)」に記載のとおり、2021年3月期会計年度末において債務超過となり、2021年6月29日に「債務超過解消に向けた計画について」を開示しております。

つきましては、2022年3月期第3四半期累計期間における債務超過解消に向けた計画の進捗状況について、以下のとおりお知らせいたします。

なお、2022年1月15日付当社プレスリリース「株式会社NSSK-Vによる当社株式等及び当社新株予約権に対する公開買付け(第一回)の結果並びに親会社、親会社以外の支配株主、その他の関係会社、主要株主である筆頭株主及び主要株主の異動に関するお知らせ」に記載のとおり、株式会社NSSK-V(以下「公開買付者」といいます。)が2021年12月13日に開始した当社の普通株式及びA種優先株式(以下、普通株式とあわせて「当社株式」といいます。)並びに新株予約権に対する公開買付け(以下、「第一回公開買付け」といいます。)については成立しております。また、公開買付者が2022年1月24日に開始した当社株式及び新株予約権に対する公開買付け(以下、「第二回公開買付け」といい、第一回公開買付けと併せて「本両公開買付け」といいます。)に対しては、2022年1月21日開催の当社取締役会にて、2022年1月21日付当社プレスリリース「MBOの実施及び意見表明(第二回)に関するお知らせ」に記載のとおり決議しております。同取締役会決議は、公開買付者が本両公開買付け及びその後の一連の手続により当社を公開買付者の完全子会社とすることを企図していること、及び当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです。現在、第二回公開買付けの公開買付期間中となりますが、詳細につきましては、同プレスリリースをご参照ください。

### 記

#### 1. 2022年3月期第3四半期決算の状況について

当社は、2022年3月期第3四半期累計期間において売上高が1,979,754千円、営業損失

が 394,069 千円、経常損失が 485,714 千円となりました。

その結果、四半期純損失 332,452 千円を計上していることから債務超過の解消には至らず、当第 3 四半期累計期間末において、803,488 千円の債務超過となっております。

## 2. 債務超過の解消に向けた基本方針について

当社は、事業収益構造改善のための諸施策の実施により、事業面及び財務面での安定化を図り、持続的な収支の改善を図るとともに、資本増強に向けた各種施策を推進し、当該状況の解消・改善に努めてまいります。

## 3. 基本方針を踏まえた取り組みの進捗状況について

### (1) 事業面での安定化について

#### ① ホテル関連

団体旅行の中でも、年間行事で複数年契約の可能性が高く、予約人数の増減変動が少ない修学旅行等教育旅行やテーブルマナー等体験旅行プランについては比較的に必要な底堅いことから引き続き取り込みを図ってまいります。

#### ② リゾート関連

ミスティイン仙石原において試行的に一部客室をドックフレンドリールームへのリニューアルを行う中、需要傾向が良好であることから、OTA 各社への販売強化を図ると共に、同ルームの拡大を検討してまいります。

#### ③ ワークेशनプラン

鴨川グランドタワーにて Wi-Fi 設備工事が完了したことから、新しい顧客層の取り込みのため、ワークेशन向けのプランを企画検討中であります。

### (2) 財務面での安定化について

#### ① 手元流動性の確保について

当第 1 四半期においては商工組合中央金庫より 2 億円の借入を行っており、また既に主要取引銀行との当座貸越契約の増額によって必要な資金枠を確保しており、当面の事業継続を行うための十分な資金を有しております。

なお、2021 年 12 月 10 日付当社プレスリリース「MBO の実施及び意見表明に関するお知らせ」及び 2022 年 1 月 21 日付当社プレスリリース「MBO の実施及び意見表明（第二回）に関するお知らせ」に記載のとおり、公開買付者は、当社の債権者かつメインバンクである株式会社千葉銀行（以下、「千葉銀行」といいます。）の協力を得て、千葉銀行を含む既存借入先との間で、本両公開買付け後に、既存の借入金債務（総額約 55.3 億円）について、返済期限を 2024 年 4 月末日から 2032 年 2 月下旬又は 3 月上旬までの間として分割弁済することその他の条件を変更することについて合意しております。また、公開買付者は、当社の本両公開買付け後の資金を確保するために、千葉銀行よ

り4億円（運転資金2億円及び設備資金2億円）の融資確約書を、株式会社商工組合中央金庫より2億円の融資証明書を、鈴木健史氏及び鈴木初子氏より合計2億円の融資確約書を取得しており、引き続き当社の資金を確保するために金融機関との協議を継続していくことを予定しております。詳細につきましては、同プレスリリースをご参照ください。

② 資本政策の検討

2021年12月10日付当社プレスリリース「資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関するお知らせ」に記載のとおり、本両公開買付けが成立すること及び2022年2月22日開催予定の臨時株主総会において承認可決されることを条件に、当社において資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分による欠損の填補を行います。

上記の諸施策の実施を進め、なるべく早期に債務超過を解消するよう努めてまいります。

以上